

# 製品別：設計・施工・使用上に関するご注意

## 高性能熱線反射ガラス製品

### 個別

#### レフシャイン

##### ●設計・施工上のご注意

- ご採用にあたっては、耐風圧強度、熱割れなどをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を決定してください。特に、熱割れの発生しやすい条件での使用に関しては、十分に検討する必要があります。
- 製品は十分に管理された工程で製造されていますので平滑性に優れていますが、その反射像に若干のゆがみが生じます。また製造上、色調の違いが生じる場合がありますのでご了承ください。
- 反射膜面は実用上十分な性能を備えていますが、膜面を金属など硬度の高いものでこするとキズがつく場合がありますのでご注意ください。一度ついた傷は補修できませんのでご注意ください。
- 可視光反射率が一般のガラスに比べて高いため、反射光が周辺の建物や交通に影響することがあります。必要に応じて反射光の軌跡をご確認ください。
- 可視光反射率が一般のガラスに比べて高いため反射像のゆがみが誇張されることがありますので、より優れた反射映像にはサッシを含め特殊バックアップ材を用いるなど、施工によるゆがみが少なくなる納まりとしてください。
- 飛散防止フィルムを貼り付けおよび貼り替える場合はフィルムメーカーへお問い合わせください。
- アルミカーテンウォールの場合、水抜き穴などによる排水は方立サッシより排水される構造にしてください。
- カーテンウォール、タイル、石などの洗浄の際、薬剤(強酸・強アルカリ・フッ化水素など)によってガラスの膜面が侵されることがありますのでガラス面の養生を十分に行ってください。
- シーリング材や油脂分を除去するため、シンナー、トルエン、アセトン、アルコールなどの溶剤を使用した場合は十分な水洗いをしてください。
- 合わせガラス、複層ガラスなどの加工を施した場合は製造上、反射像のゆがみが大きくなりますのでご注意ください。
- 施工にあたってはシリコン系の弾性シーリング材をご使用ください。プライマーは反射膜面に適した製品を選択してください。
- プライマーが付着した場合、放置しておくことと取りにくくなりますので、養生膜の周辺はマスキングテープで完全に保護してください。万一、プライマーが付いた場合は直ちにトルエンなどで除去し、その後水で洗い流してください。
- 保管、あるいは施工時にガラスにキズをつけることと熱割れの原因となりますので、十分ご注意ください。
- 保管にあたっては、雨や日射の当たらない風通しのよい室内で、ビニールなどで覆って汚れないようにしてください。室外に放置すると汚れや熱割れの原因となりますのでお避けください。
- レフシャインは反射膜面を室内側に向けてご使用ください。
- レフシャインは反射膜面が室内側のためガラスの厚さの異なるものを使用した場合、色調に多少の差が生じます。同一壁面で色調の統一を望まれる場合は耐風圧強度を考慮のうえ、ガラスの厚さの最大・最小の差を2mm以内にしてください。
- レフシャインは品種によって反射色、透過色が異なります。また、若干の色ムラなどを生じる場合があります。反射像の状況や色調などを正確に把握していただくために、より大きなサンプルをご覧になることをおすすめします。
- 反射膜には一般にピンホールといわれる小さな点状の膜抜け部ができています。このピンホールは製造上生じるため皆無にすることは非常に困難です。ご了承ください。
- 反射膜面には建築工事中に発生する汚れや損傷を防ぐためガラス周辺部を除いて養生フィルムが貼られています。養生フィルム上に貼付けられたラベル面が室内側にはめ込まれるよう施工してください。  
なお、養生フィルムの上からでも硬いものをぶつくと反射膜面にキズがつく場合がありますので、施工にあたっては十分ご注意ください。
- 養生フィルムは不要になった時点で取り除き、その後必ずクリーニングを実施してください。スパンドレルの場合は、はめ込み直前に養生フィルムを取り除くなどスパンドレル構造に応じた工程管理をしてください。

##### ●使用・メンテナンス上のご注意

- フロート板ガラスに比べ反射率が高いため、同程度の汚れでも目立ちがちです。常に美しい反射像を維持するためには一般の板ガラス以上に入念なメンテナンスが必要です。
- クリーニングは水洗いが適当です。落ちにくい汚れの場合は中性洗剤を使用しその後、水で洗い流してください。
- クリーニングの際、反射膜面を損傷しないようガラス面に付着した砂などの固形物は水で取り除き、清浄な布やスqueegeeで清掃してください。なお、スqueegeeを使用する場合、裏面の金具がガラス面に当たるような使い方をしますと反射膜にキズがつきますので絶対にお避けください。
- 落ちにくい汚れは適量の液状中性洗剤を用いたあと水拭きします。なお、砥粒・酸・アルカリ・フッ化水素などが含まれる洗剤で清掃すると反射膜面にキズつけるおそれがありますのでお避けください。
- 冷暖房の吹出し空気をガラス面に直接当てたり、ガラスに密着するようなロッカーやパーティションの設置は熱割れの原因になります。
- ガラスの表面にフィルムや紙などを貼ったり、塗料を塗ると熱割れすることがありますのでお避けください。反射膜面やガラス面のクリーニングが困難になるうえ、熱割れの原因となります。  
※フィルムの取り扱いについてはフィルムメーカーへお問い合わせください。
- 室内側ガラスの近くにダンボール箱等、物を置くことはお避けください。一時的な仮置きの場合でも熱割れが生じる場合があります。
- レフシャインの美しさを長く維持するため1か月に1回以上のクリーニングを実施してください。